

## 第1号議案：平成26年度事業報告について

### ■公益目的事業1（「創造する伝統賞」の主催）

（定款第4条第1項第2項）

#### ◆助成顕彰事業（第21回）

平成27年2月5日の理事会の審議を経て3名に授与した。

「第6回創造する伝統賞」 賞金各100万円

- 川瀬 露秋（47歳） 地歌箏曲胡弓演奏家
- 前田 正博（66歳） 陶芸家
- 吉田 直（45歳） 彫刻家

#### （1）対象

日本の伝統文化及び現代芸術の広い分野を対象とする。国籍不問。

#### （2）募集応募概況

発 送 先：美術館、博物館、新聞社、雑誌、大学、財団役員他関係者、文化藝術の会会員、  
歴代助成顕彰関係者、評論家、画廊、授賞式典出席者、資料請求者、  
これまでの受賞関係者、

発 送 数：1,011通

告 知：当財団WEBサイト、邦楽ジャーナル、美術の窓

応募総数：57件（一般公募44件、推薦応募13件）

#### （3）選考委員会

開催日時：平成27年1月16日 17:00～19:00

開催場所：公益財団法人日本文化芸術財団 会議室

出 席 者：柏木博委員長、尼崎博正委員、葛西聖司委員、新谷尚紀委員、丹下憲孝委員、  
中村真規委員、根岸吉太郎委員

書面出席：金子賢治委員

役 員：北村誠代表理事（オブザーバー）

事 務 局：事務局員2名

選考方法：事前に選考委員に全応募者の資料を送付し、閲覧を依頼した。

選考委員会当日は、応募者から提出されたDVD、CD、ポートフォリオ、論  
文集、カタログ、パンフレット、著書、掲載書籍等を視聴及び回覧した。

各委員より意見を出し合い、選出候補者を絞り、さらに審議し各委員の同意の  
上で、選出者を決定した。

#### （4）理事会の決議

平成27年2月5日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された3名に「創造する  
伝統賞」授与を決議した。

#### （5）授賞式典の開催

開催日時：平成27年4月26日（日） 14:30～17:20

開催場所：明治記念館（鳳凰の間）

出 席 者：〔受 賞 者〕 川瀬露秋氏、前田正博氏、吉田直氏

〔選考委員〕 柏木博選考委員長、金子賢治委員、葛西聖司委員、中村真規委員、

根岸吉太郎委員

[役員] 千玄室会長、徳山豊代表理事、北村誠代表理事、  
大野木啓人理事、津田恵子理事、渋谷佳樹監事、  
安孫子正評議員、小椋秀樹評議員、野呂芙美子評議員

[来賓] 文化庁文化部芸術文化課課長 加藤敬様

内容：会長挨拶、選考委員からの選評、賞状・賞金目録の授与、  
併催の日本文化藝術奨学金選評、奨学金証書・目録の授与、  
文化庁加藤様祝辞、受賞者紹介、記念撮影、受賞者との懇談

(6) 賞金の授与

平成 27 年 4 月 本人名義の口座に振込にて授与

(7) 受賞者の紹介

当財団 WEB サイト

受賞者紹介の小冊子を作成し授賞式で配付、その他関係者へ送付

■公益目的事業 2 (芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付)

(定款 第 4 条 第 3 項)

◆育英事業

「日本文化藝術奨学金」

平成 26 年度育英事業として「日本文化藝術奨学金」の募集を行い、平成 26 年 12 月 8 日に  
選考委員会を開催。平成 27 年 2 月 5 日の理事会の審議を経て、6 名に奨学金を給付した。

日本文化藝術奨学金 各 50 万円

- 笹川 治子 東京藝術大学大学院 先端芸術表現科 博士 1 年 (31 歳)
- 佐竹 真紀子 武蔵野美術大学大学院 造形研究科美術専攻 修士 1 年 (22 歳)
- 田中 望 東北芸術工科大学大学院 芸術工学研究科芸術工学専攻 博士 1 年 (25 歳)
- 辻 慎一郎 東京藝術大学大学院 美術研究科美術専攻建築研究領域 博士 1 年 (26 歳)
- 永井 天陽 武蔵野美術大学大学院 造形研究科美術専攻彫刻コース 修士 1 年 (23 歳)
- 政木 哲也 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科造形科学専攻 博士 3 年 (32 歳)

(1) 対象者

次の条件を充たし、文化・芸術の分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

(1) 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること

(2) 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

(2) 募集応募概況

募 集：大学院生 6 名 奨学金 1 年間 50 万円の給付

募集期間：平成 26 年 11 月 1 日から平成 26 年 11 月 11 日 (当日消印有効)

申請書類：①奨学生願書 ②奨学生願書 2 ③推薦書 ④成績証明書 ⑤在学証明書

応募状況：44 名

・今年度は対象、募集時期、応募書類等大幅な改編があった。

- ・20校より44名の応募があった。(うち4名は書類不備のため選考対象外)
- ・対象を絞ったこと、改編に伴う告知のタイミングが変わったこと等の影響が考えられるため、単純に前年との応募状況の比較はできない。

### (3) 選考委員会

開催日時：平成26年12月8日(月) 14:00～16:00

開催場所：公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出席者：寺脇研委員長、川村悦子委員、中山ダイスケ委員、木村博昭委員、  
成田宏紀委員、花光潤子委員

役員：野呂芙美子評議員(オブザーバー)

事務局：事務局員2名

#### ○選考資料

- ・日本文化藝術奨学金 学校別応募人数
- ・日本文化藝術奨学金 学校別過去の受給者数
- ・日本文化藝術奨学金 受給者一覧
- ・応募者資料 ※事前送付
- ・成績順リスト ※事前送付

#### ○選考方法

- ・事前に選考委員に全応募者の資料を送付し、閲覧を依頼。
- ・選考委員会当日、事前審査による候補者を各委員6名ずつ発表し、応募者から提出されたポートフォリオ、DVD等参考資料を視聴・回覧した。
- ・各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げ、満場一致でまず4名を選出した。
- ・意見のわれた候補者に対し再び審査を行い、最終投票により満場一致で残り2名について候補者として選出した。

### (4) 理事会の決議

平成27年2月5日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された6名に奨学金授与を決議した。

### (5) 授与式典の開催

開催日時：平成27年4月26日(日) 14:30～17:20

開催場所：明治記念館(鳳凰の間)

出席者：[奨学生] 笹川治子、佐竹真紀子、田中望、辻慎一郎、永井天陽、政木哲也

[選考委員] 寺脇研選考委員長、川村悦子委員、木村博昭委員、花光潤子委員

[役員] 千玄室会長、徳山豊代表理事、北村誠代表理事、  
大野木啓人理事、津田恵子理事、渋谷佳樹監事、  
安孫子正評議員、小椋秀樹評議員、野呂芙美子評議員

[来賓] 文化庁文化部芸術文化課課長 加藤敬様

内容：会長挨拶、併催の「創造する伝統賞」選考委員からの選評、賞状・賞金目録の授与、日本文化藝術奨学金選評、奨学金証書・目録の授与、文化庁加藤様祝辞、受賞者紹介、記念撮影、奨学生との懇談

### (6) 奨学金給付

平成27年4月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付

平成27年9月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

## 「加藤定奨学金」

平成26年度育英事業として「加藤定奨学金」の募集を行い、平成26年12月8日に選考委員会を開催。平成27年2月5日の理事会の審議を経て、6名に奨学金30万円を給付した。

### 京都・奨学金給付大学生 3名

- 京都造形芸術大学 芸術学部映画学科俳優コース 2年(19歳)
- 京都市立芸術大学 美術学部美術科彫刻専攻 2年(30歳)
- 京都造形芸術大学 芸術学部情報デザイン科コミュニケーションデザインコース 3年(21歳)

### 全国・奨学金給付大学生 3名

- 東京藝術大学 美術学部工芸科漆芸専攻 2年(22歳)
- 長岡造形大学 造形学部美術工芸学科 3年(20歳)
- 東北芸術工科大学 芸術学部美術史・文化財保存修復学科 3年(20歳)

## (1) 対象者

次の条件を充たす者

- (1) 国内の芸術系大学の2年生及び3年生に就学し、かつ次年度在籍予定者であること
- (2) 学業優秀、品行方正でありながら経済的事由によって就学に支障をきたしている学生であること

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

## (2) 募集概況

募 集： 大学生6名 奨学金 1年間30万円の給付

募集期間： 平成26年11月1日から平成26年11月11日(当日消印有効)

申請書類： ①奨学生願書 ②奨学生願書2 ③推薦書 ④成績証明書 ⑤在学証明書  
④所得証明書

応募状況： 応募総数20名(京都4名、全国16名)

- ・今年度は対象、募集時期、応募書類等大幅な改編があった。
- ・12校より20名の応募があった。
- ・対象を絞ったこと、改編に伴う告知のタイミングが変わったこと等の影響が考えられるため、単純に前年との応募状況の比較はできない。

## (3) 選考委員会

開催日時： 平成26年12月8日(月) 14:00~16:00

開催場所： 公益財団法人日本文化芸術財団 会議室

出席者： 寺脇研委員長、川村悦子委員、中山ダイスケ委員、木村博昭委員、  
成田宏紀委員、花光潤子委員

役員： 野呂英美子評議員(オブザーバー)

事務局： 事務局員2名

### ○選考資料

- ・加藤定奨学金 学校別応募人数・受給者数
- ・応募者資料 ※事前送付
- ・困窮度順リスト ※事前送付
- ・家計評価一覧

### ○選考方法

- ・事前に選考委員に全応募者の資料(提出された所得証明書や応募書類より[認定所得額](日本学生支援機構奨学金の控除額の算出方法に準じ計算した額)を算出し

たものを含む)を送付し、閲覧を依頼。

- ・ 選考委員会当日、事前審査による候補者を各委員京都3名、全国3名ずつ発表。
- ・ 各候補者の経済状態、成績を確認したうえで推薦理由をそれぞれ挙げ、過半数を超えた京都・全国各3名を候補者として選出した。

(4) 理事会の決議

平成27年2月5日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された6名に奨学金授与を決議した。

(5) 奨学金給付

平成27年4月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付  
平成27年9月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

**■公益目的事業3(自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、及び実施事業の記録)**

(定款第4条第4項第5項第6項)

◆文化芸術普及活動事業

(1) 創造する伝統 社の中の文化祭

当財団の基本理念である「創造する伝統」を体現する実技者(これまでの助成顕彰受賞者)を中心とした催しを開催。社の自然を感じながら文化・芸術に触れることができる。それぞれがこの体験を通して、文化・芸術への興味を深め、親しむことを目的とする。

会 場：明治神宮「参集殿」「隔雲亭」

開催日時：平成26年7月27日(日)

特別協力：明治神宮

協 力：裏千家、一般社団法人杵勝会

後 援：京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

実施概要：

①【中今茶会】(隔雲亭)

明治神宮内の茶室「隔雲亭」を会場とした茶会。「創造する伝統賞」の第5回(平成22年度)受賞者である太田三郎氏、小椋範彦氏の作品を随所に配置し、現代アートと伝統文化のコラボレーションを実現。

開催時間：観覧10:00-16:30 呈茶席①11:00 ②12:00 ③13:00

参加費：無料 ※呈茶席は文化藝術の会会員のみ

作品出展：太田三郎(美術家)、小椋範彦(漆芸作家)

茶席席主：岩田宗富(裏千家)

②【LIVE 源氏物語—夢の浮橋—】(参集殿)

長唄コンサート。「創造する伝統賞」の第5回(平成22年度)受賞者である杵屋勝四郎氏が作曲・出演。古典楽器の生演奏に、電子音楽を加えた新曲「源氏物語」を披露。様々な演出を試み、古典音楽の芸術としての可能性を探る。

開催時間：14:00 開演

参加費：一般1,000円/高校生以下・文化藝術の会会員 無料

実施概要：第1部 トーク「古典からの創造」

出演/杵屋勝四郎(長唄唄方)、市川右近(歌舞伎俳優)、

山川健一(小説家、東北芸術工科大学教授)

第2部 「源氏物語」作曲：杵屋勝四郎

出演／杵屋勝四郎ほか長唄連中、鳴物連中、石黒裕之、村治将之助 ほか

来場者数：①【中今茶会】(隔雲亭) 108名 (のべ人数)  
②【LIVE 源氏物語—夢の浮橋—】(参集殿) 202名  
※合計来場者数：310名 (のべ人数)

(2) 茶論四季おりおり —鉄のぬくもり—

※申込が最少催行人数に達しなかったため、開講中止となった東京藝術学舎講座のうち、2講座の講師を招聘し開催した。

日 時：平成26年12月1日(月) 14:00-16:00  
場 所：京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス  
主 催：公益財団法人日本文化芸術財団  
協 力：京都造形芸術大学 東北芸術工科大学  
参加費：1,000円 ※文化藝術の会(財団賛助会員)は無料  
定 員：20名  
目 的：作品、作家、専門家と交流する機会を提供する。  
財団がテーマとして掲げる「創造する伝統」への理解を深める。

内 容：

○第1部 対談「金子賢治×留守玲」

助成顕彰事業(第11回日本現代芸術奨励賞)受賞者の留守玲氏と、長年選考委員を務める金子賢治氏の対談。前半は作家が活動のテーマや、技術、作品への思いをわかりやすく映像資料や画像を用いて話した。後半は茨城県陶芸美術館館長であり、工芸評論家の金子氏が加わり、現代工芸の可能性についての話を展開した。文化と芸術、実用性と美術性の両方を持つ工芸について知り、「創造する伝統」を考えるひとつの道すじとした。

○第2部 交流会(作品鑑賞、フリートーク)

参加者との交流会とし、実際に作品を数点展示し、間近で鑑賞しながら作家・専門家と会話をする場を提供。作家の意図や精神に触れることで、より深く作品を鑑賞することができた。身近に芸術を感じ、互いに刺激しあえるよう、参加者全員が自由に発言できるプログラム。 ※お茶・お菓子付

(3) こども芸術の家プロジェクト(支援)

※「こども芸術の家プロジェクト」は、東日本大震災後において芸術とデザインの力によって被災地への復興支援を継続的にを行うことを目的に2011年5月に立ち上げられ、学生や地域も協同した教育支援プロジェクトを実施している。

主 催：東北芸術工科大学+京都造形芸術大学

協 力：日本文化芸術財団

事務局：東北復興支援機構(TRSO)

活動内容：被災した子供たちとその家族を対象とするアートキャンプ、イベントの開催

①「キッズアートキャンプ山形」

開催時期：2014年8月9日(土)～8月10日(日)1泊2日

②「ふくしましま」

開催時期：2014年11月2日(日)

(4) ブログ 四季おりおり ～日本歌謡物語～

期 間：平成25年9月1日より平成26年8月15日

更 新：毎月2回(1日、15日) 全24回更新

テーマ：日本の歌謡史の中からさまざまな歌を紹介。

日本の歴史とともに歌を楽しみ、日本の物語を語れるようにする。

文 章：聞香箒門会宗匠 伊達晟聴氏

U R L： <http://blog.canpan.info/shikioriori>

◆ その他

○ WEB での告知、情報公開

ホームページ <http://jp-artsfdn.org/>

facebook <https://www.facebook.com/jparts.fdn>

twitter <https://twitter.com/jpartsfdn>

▪ 主催イベント等の告知、申込受付

▪ 「創造する伝統賞」および奨学金事業の募集告知、資料請求受付

▪ 文化藝術の会入会案内、受付

▪ これまでの助成顕彰事業授賞者、育英事業奨学生に対し、活動報告書の提出を依頼、  
工房や展覧会、公演会場を訪問し、最新の活動を WEB で紹介

○ 賛助会員システム（WEB 管理システム）の運用

○ 文化藝術の会会報発行（3 回）